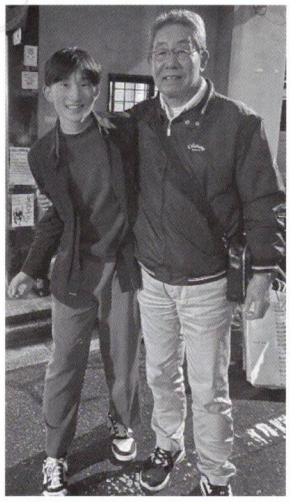
操法審査会に出場して

第三分団　竹村　太一



訓練にあたり、公道を使わせてくださるなど、近隣の皆様には多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。町会の皆様や近所の方々からも温かい差し入れや励ましのお言葉をいただき、とても大きな支えとなりました。操法大会は、本番で競技する選手だけではなく、多くの方々の支えがあってはじめて成り立つものだと強く実感いたしました。訓練期間中は、第三分団の十八歳の私から、七十五歳の熟練した団員までが、一丸となって操法大会へ向かいました。その経験は、大学やアルバイトでは決して経験できない、幅広い世代が一つの目標に向かって力を合わせる貴重な時間となりました。また、これまでチームスポーツの経験が少なかった私にとって、長期間にわたり仲間とともに必死に訓練に励み、同じ目標へ向かって操法大会に臨んだ経験は、何物にも代えがたい大変貴重なものとなりました。

さらに、本番当日は、第三分団の皆様から温かい応援や、熱い励ましのお言葉をいただき、大きな安心感と心強さを胸に、全力で競技へ臨むことができました。これからも、操法大会で学んだことを基礎として、日々の防災、減災に繋げられる学びを消防団の活動の中で積み重ねて、地域に対して微力ながらも全力で貢献していきたいと考えています。

浅草橋紅白マロニエまつり

第一分団　横山　清孝

マロニエの花が咲くヒューリック浅草橋ビル等周辺を中心に、五月九日、十日、浅草橋紅白マロニエまつりが開催されました。我々、浅草消防団員も浅草消防署員と一緒のブースで活動を行いました。家族連れを中心に消火器体験や、AEDの展示、撮影コーナーでは実際の消防士の服装を体験してもらうなど、消防の広報活動を行いました。消火器体験では、子供たちに「周りの人に火事だ！と伝える事が何より大事だよ。」と教えた際に、一緒にいたパパ、ママに照れくさそうに小声で「火事だ！」と伝える姿を見て、とても可愛く、微笑ましく感じました。また、あるお母さんは「大事な事なので、ちゃんと教わりたい」と真剣な表情で取り組まれていて、教える側としても身の引き締まる思いと共に、このような地道な活動が地域の防災に繋がっていくのだなと改めて実感しました。撮影コーナーでは、うす茶色、オレンジ色、黒色といくつか種類のある防火服の中から、真剣な表情で選んで撮影に臨む可愛い未来の消防士さんがたくさんいました。一緒に来ていたお父さん、お母さんも、本物の防火服を子供とお揃いで着ることができ、とても嬉しそうにしていました。この二日間の活動で、このような家族の姿をたくさん見ることができ、参加してよかったなと感じることができました。

令和八年度事業計画（全団員対象）

令和八年十月二十四日（土）
台東区内三消防団合同点検

令和八年十一月二十八日（土）
庁・震災訓練

令和九年一月十七日（日）
消防団始式

ダンプレス　編集委員

☆委員長　佐久間　明男
☆副委員長　佐藤　充弘
☆委員
第一分団　廣田　めぐみ・白川　貴康
第二分団　渡邊　雄太・井上　宗
第三分団　沼　邦彦・吉田　忠史
第四分団　金元　祐紹・白川　隆静
編集構成　金元　祐紹